

Style シリーズ

Style for ME

XML 変換ソフト

マニュアル 第1版

株式会社中央情報システムズ

## 変更履歴

日付	内容	備考
2008/02/11	第1版作成	
2008/02/29	入力チェック機能説明追加	デモ版では、チェックを行っていません。
2008/03/09	デモ版にも入力チェック追加	
2008/03/10	デモ版/正規版統合	
2008/03/21	画面修正、ファイル名変更	保健指導と見分けるため
2009/05/22	動作環境の補足事項を追加	
2009/05/22	インストール時の補足事項を追加	

## 目次

1. 概要	4
(1)概要	4
(2)環境	4
2. インストール/アンインストール	5
(1)インストール	5
(2)アンインストール	7
3. 起動	8
(1)画面の起動	8
(2)XML 作成画面	8
(3)変換設定画面	10
4. XML 作成	12
(1)ファイルの圧縮形式選択	12
(2)設定定義選択	12
(3)CSV 格納先	13
(4)XML 出力先	13
(5)コンソール表示	14
(6)CSV チェック	14
(7)XML 作成	17
5. 設定	21
(1)設定定義の保存/読込/削除	21
(2)CSV 列設定	24
(3)規定値設定	25
6. 他アプリケーションからの起動	26
(1)起動方法	26
(2)処理結果の取得方法	29
(3)サンプルソース	30
7. CSVチェック:エラーログ	33
(1)ログ内容	33
(2)チェックの種類	33
8. 付属資料にない検査項目コードの作成について	35
(1)概要	35
(2)登録方法	35
9. 正規版、デモ版について	36
(1)デモ版について	36
(2)正規版について	37

# Style for ME (XML 変換)

## 1. 概要

### (1) 概要

- ・本ソフトウェアは、CSV データを入力に電子的標準仕様の XML に変換を行います。

### (2) 環境

- ・OS(日本語版): Windows 2000、Windows XP(Professional SP2)、Windows Vista(Business)にて動作確認を行っております。
- ・ネットワークに接続されている必要があります。

## 2. インストール/アンインストール

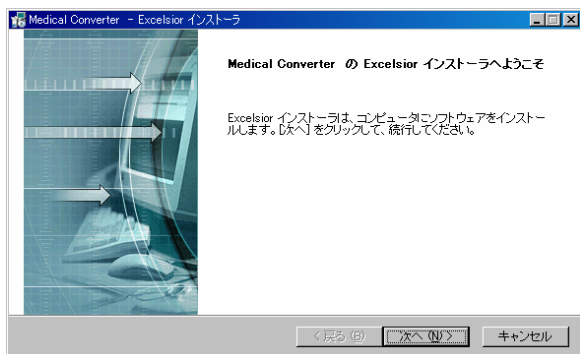
※インストール時のユーザは、コンピュータの管理者で行ってください。

### (1)インストール

①配布 CD または、ダウンロードした下記のファイルをダブルクリックします。

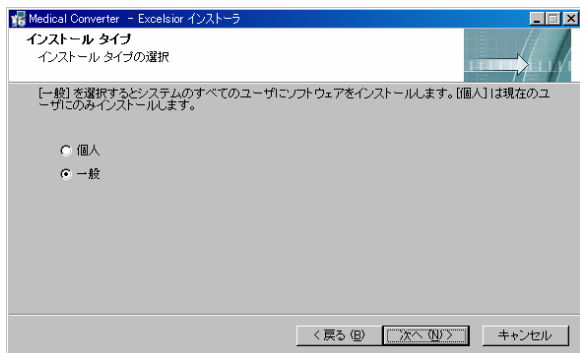


②『インストール初期画面』が表示されたら『次へ』ボタンを押下します。

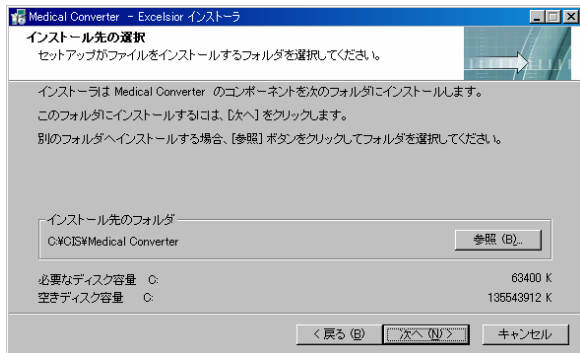


③『インストール選択画面』が表示されたら『一般』・『個人』を選択し、『次へ』ボタンを押下します。

※端末を使用する際、複数ユーザで使用される方は、『一般』をお勧めします。

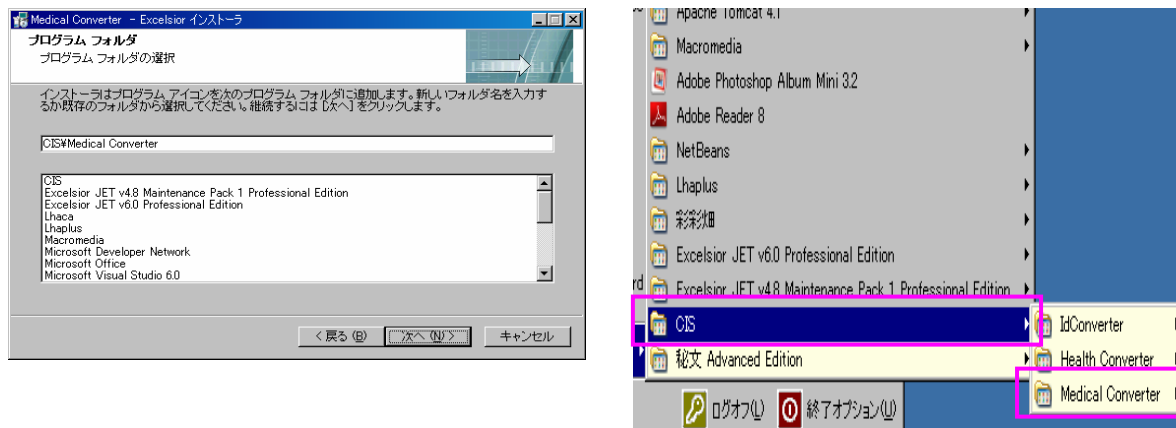


④『インストール先の選択画面』が表示されたらインストール先のフォルダを選択し『次へ』ボタンを押下します。

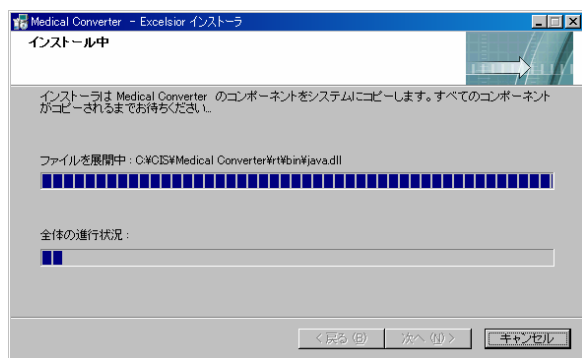
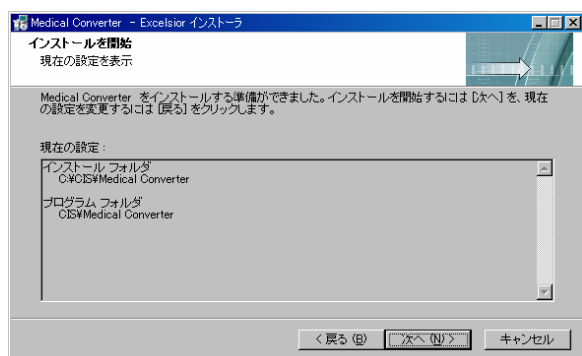


## Style for ME(XML 変換)

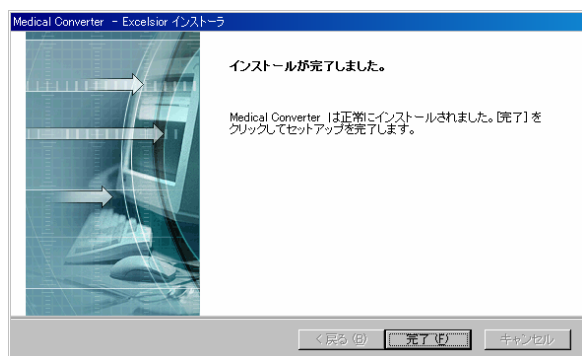
⑤『プログラム フォルダ画面』が表示されたらフォルダ名を決定し『次へ』ボタンを押下します。



⑥『インストール確認画面』が表示されたら内容を確認し『次へ』ボタンを押下します。インストールが開始されます。

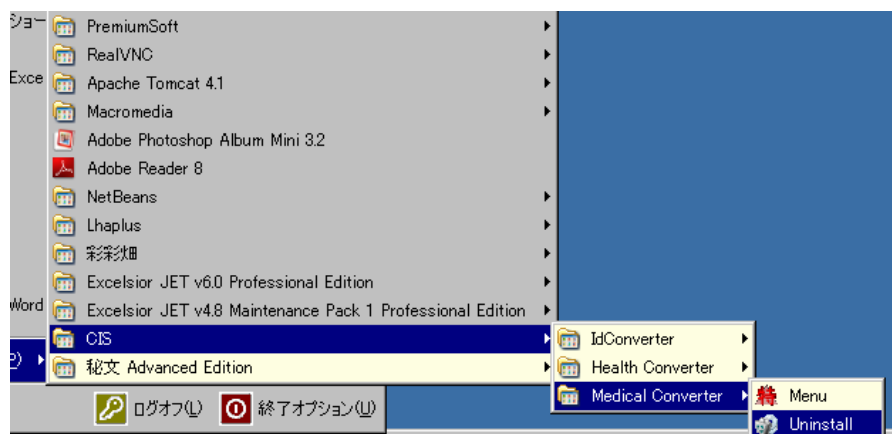


⑦『インストール完了画面』が表示されたら『完了』ボタンを押下します。

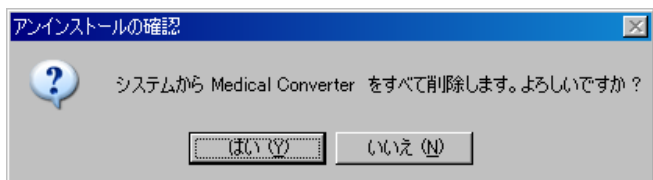


## (2)アンインストール

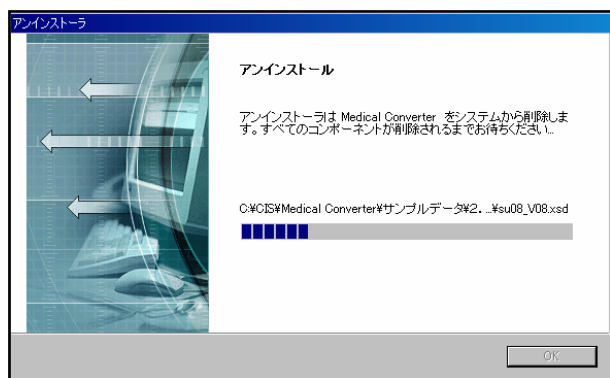
①『スタート』『プログラム』『(インストール)フォルダ』『Uninstall』をクリックします。



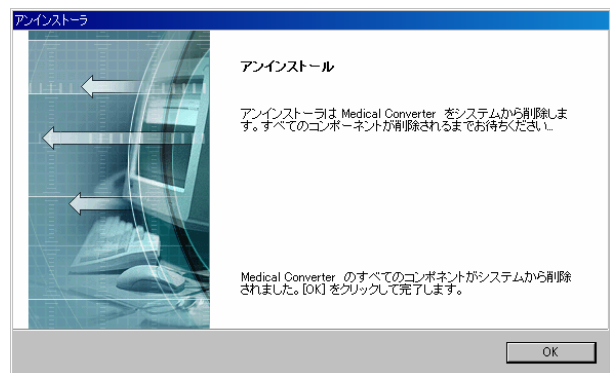
②『アンインストール確認画面』が表示されたら『はい(Y)』を選択します。



③『アンインストール中画面』が表示されます。



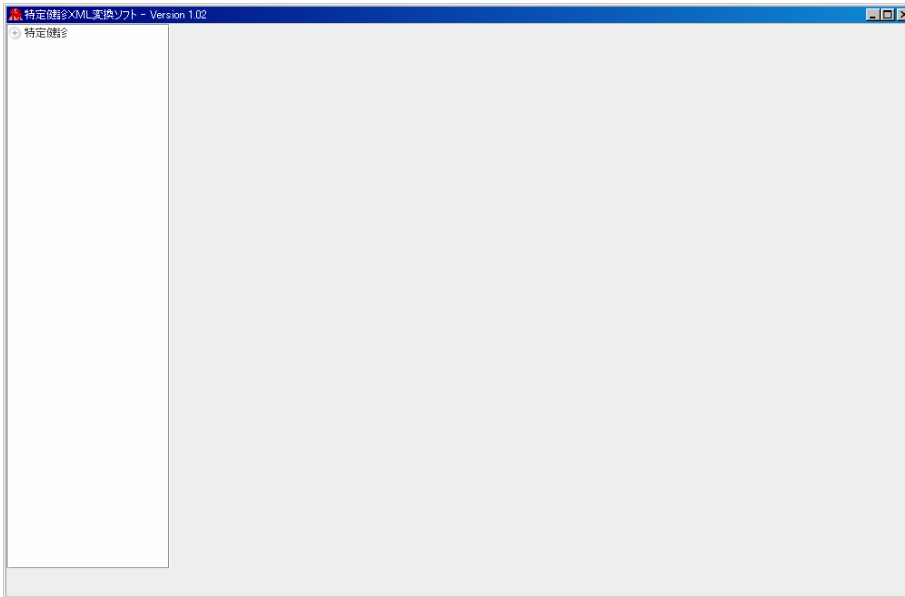
④『アンインストール完了画面』が表示されたら『OK』ボタンを押下します。



## 3. 起動

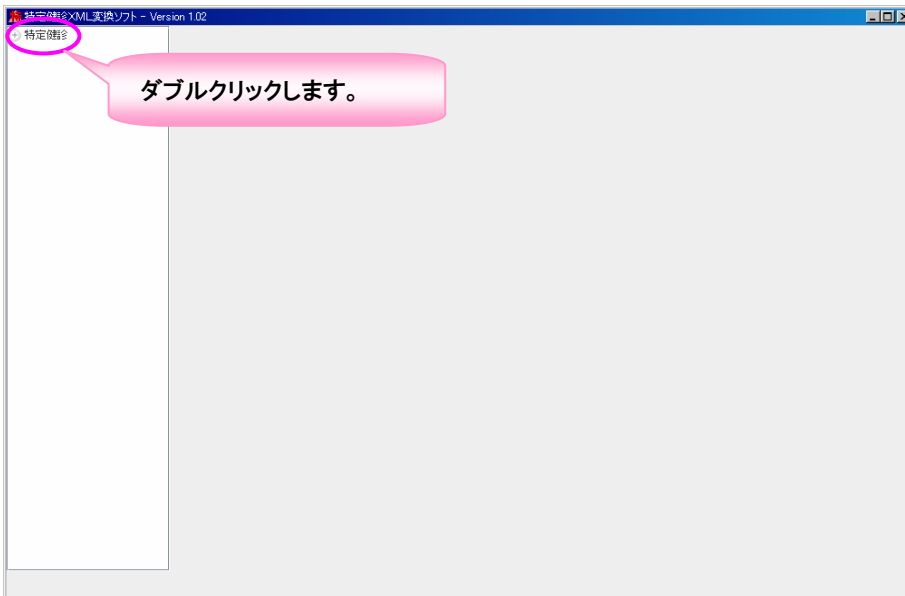
### (1)画面の起動

・『スタート』-『プログラム』-『(インストールフォルダ)』-『Menu』を選択します。



### (2)XML 作成画面

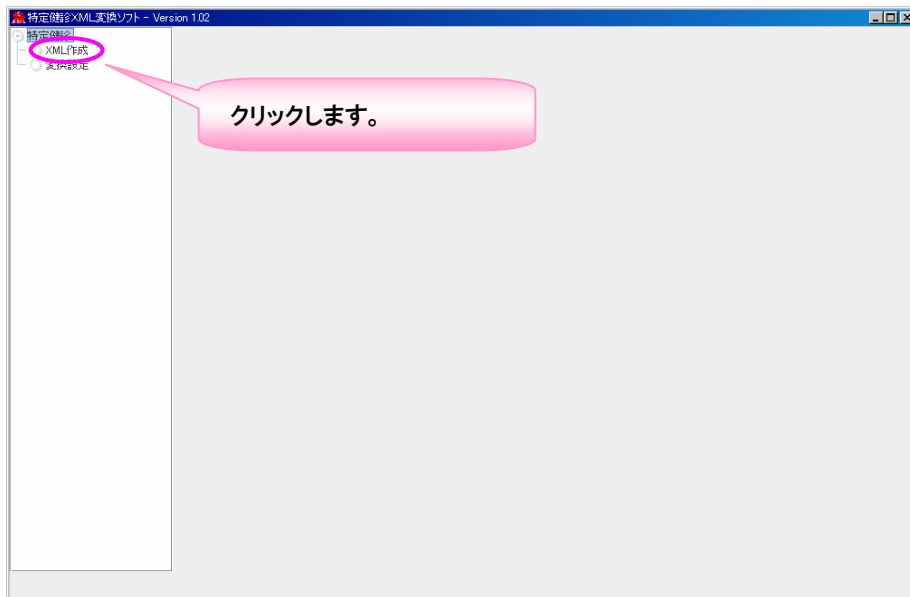
・『特定健診』をダブルクリックします。



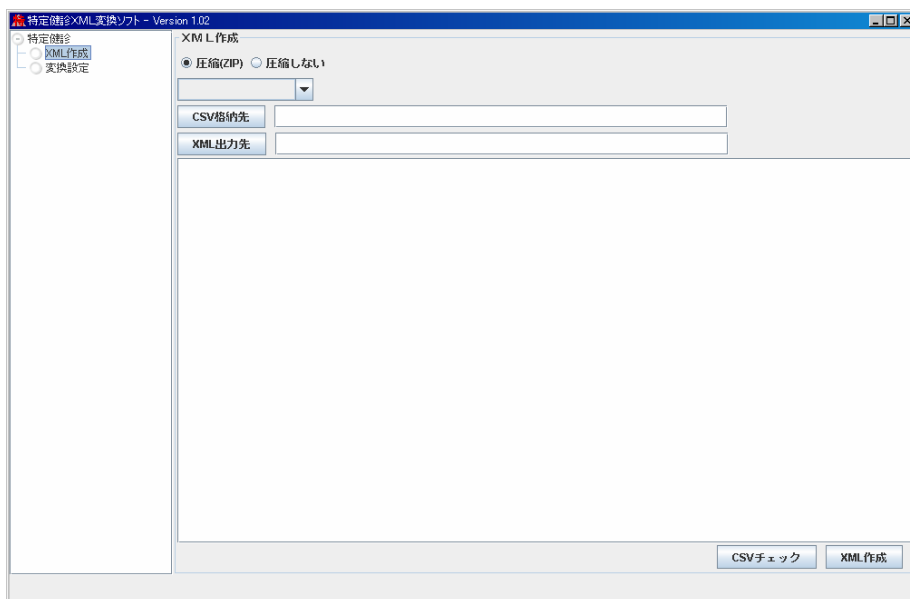


## Style for ME(XML 変換)

- ・『XML 作成』をクリックします。

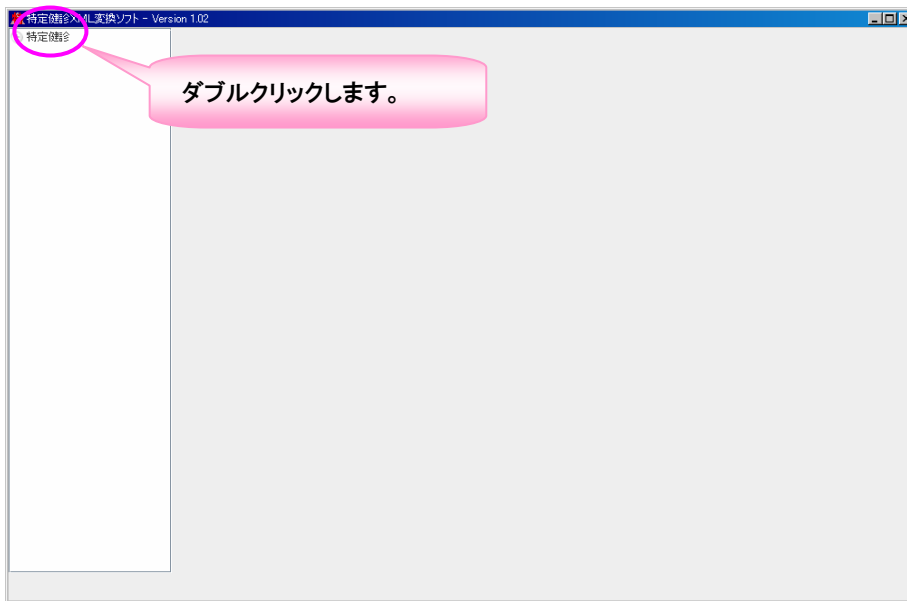


- ・『XML 作成』をクリックすると作成画面が表示されます。

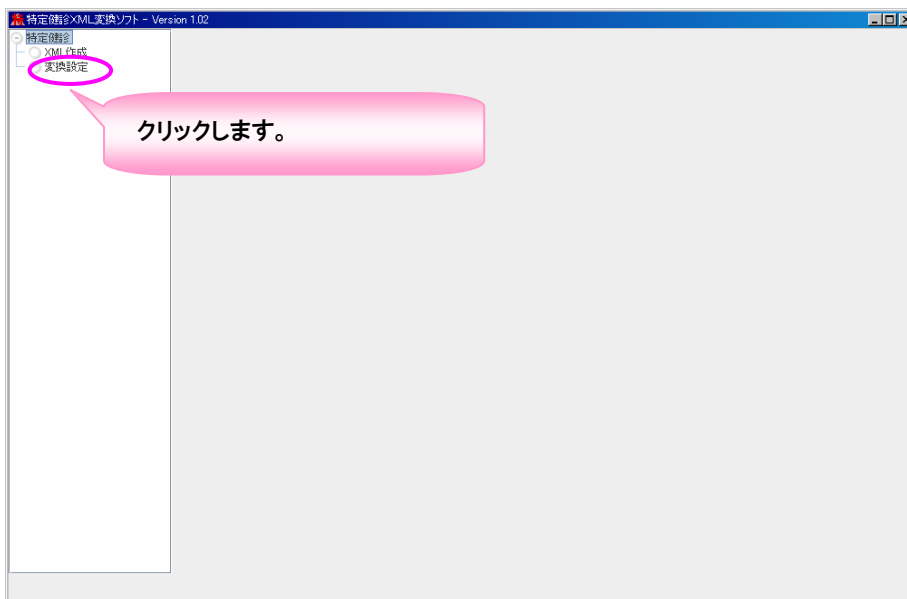


## (3)変換設定画面

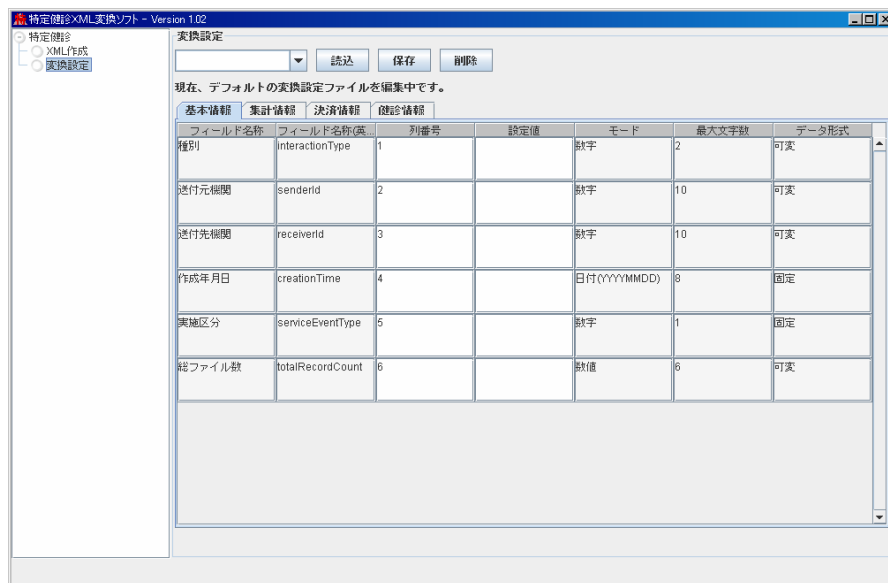
- ・『特定健診』をダブルクリックします。



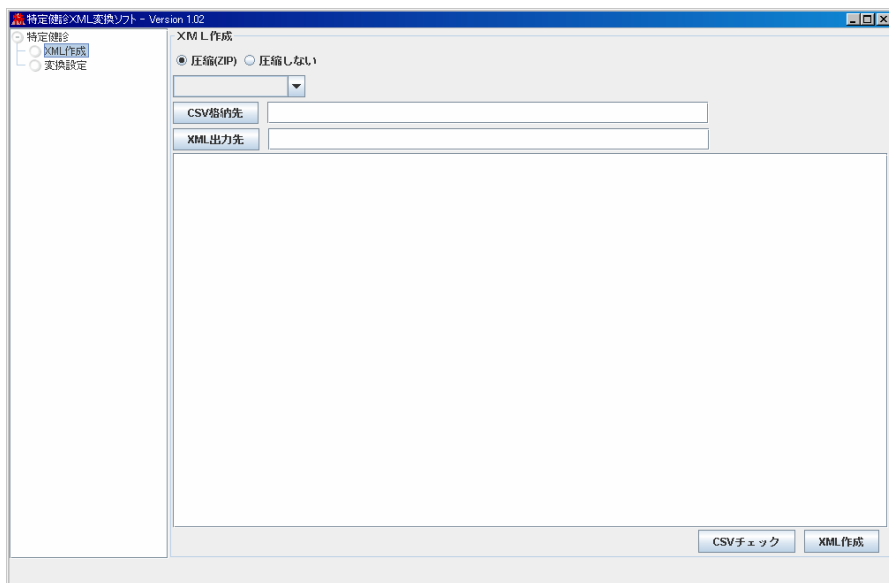
- ・『変換設定』をクリックします。



- ・『変換設定』をクリックすると設定画面が表示されます。

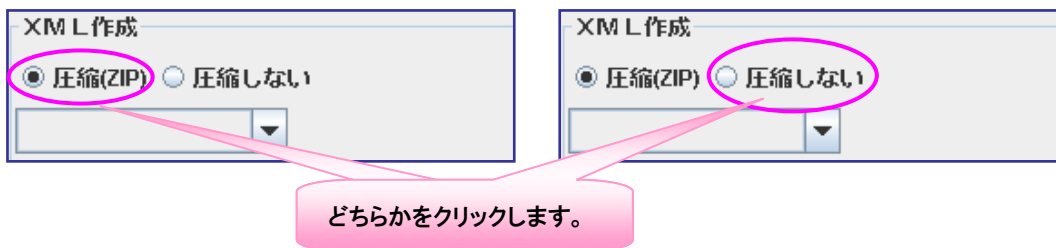


## 4. XML 作成



### (1) ファイルの圧縮形式選択

・ラジオボタン押下により圧縮形式を選択します。

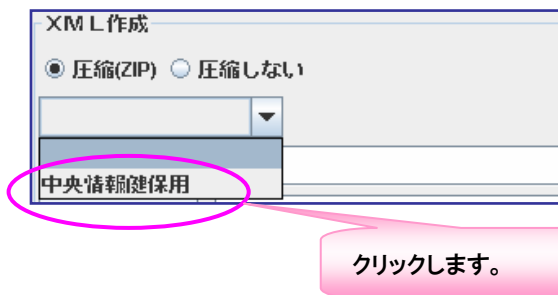


### (2) 設定定義選択

・コンボボックスより変換設定名称を選択します。

※空白はデフォルト設定です。

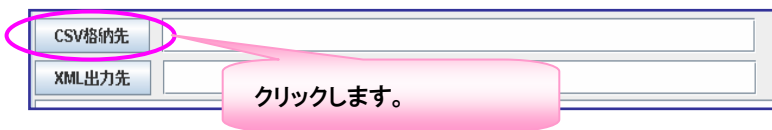
※変換設定の編集/作成は、5.設定にて説明します。



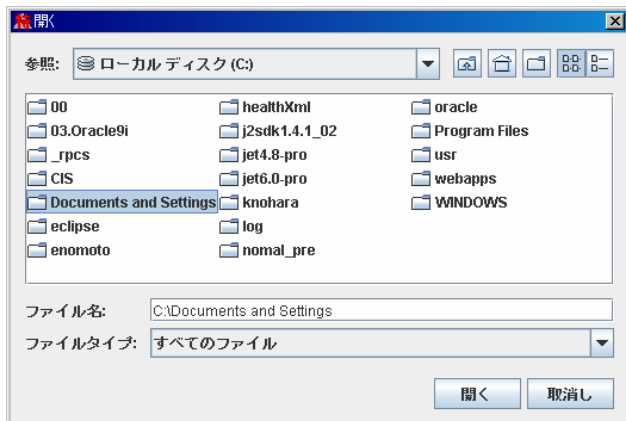
## Style for ME(XML 変換)

### (3)CSV 格納先

- ・CSV 格納先のフォルダを選択します。

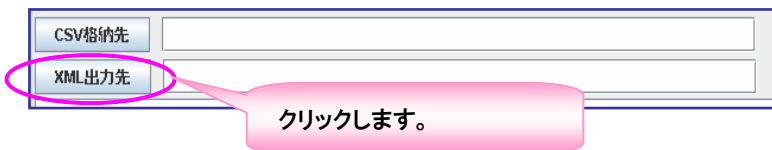


- ・上記より下記画面が表示されるので、CSV が格納されているフォルダを選択します。



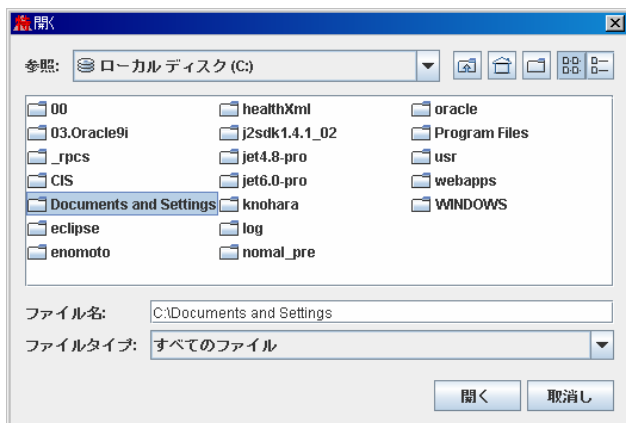
### (4)XML 出力先

- ・XML 出力先を選択します。



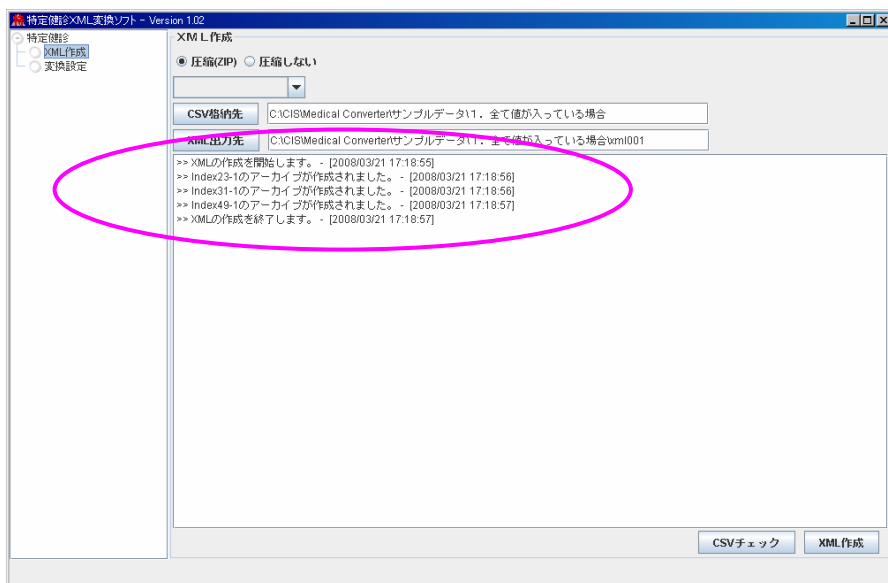
- ・上記より下記画面が表示されるので、XML ファイルを出力するフォルダを選択します。

※新規フォルダの指定も可能です。



## (5)コンソール表示

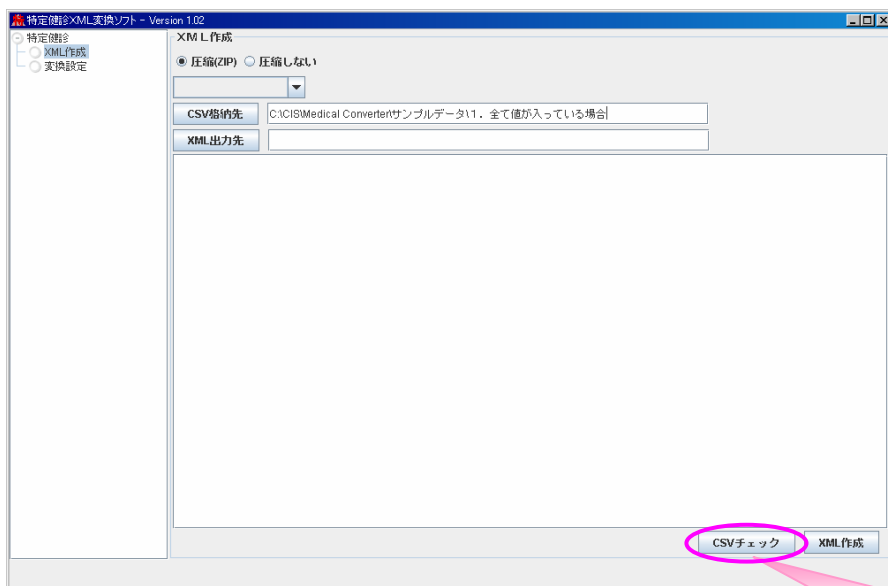
- ・現在の処理経過を順次表示します。



## (6)CSV チェック

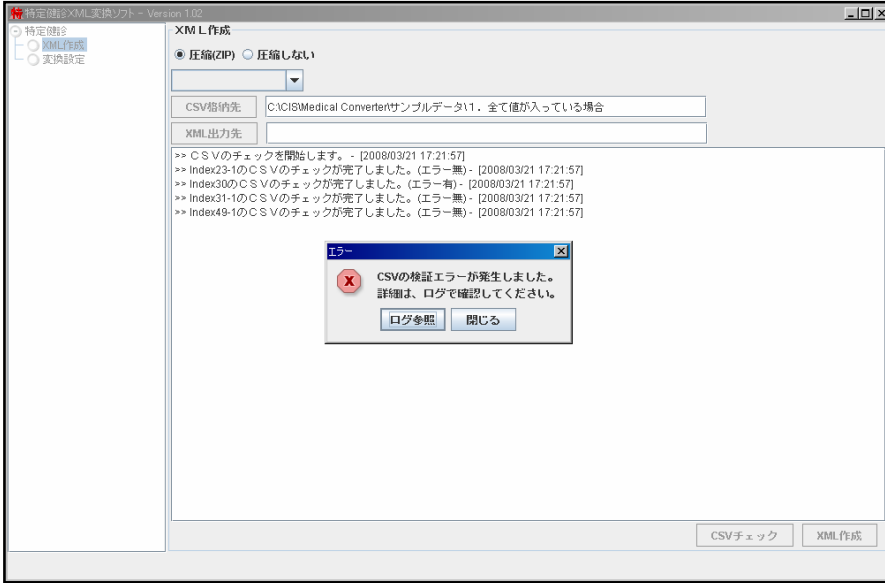
- ・CSV ファイルを読み込み、入力チェックを行ないます。

①CSV ファイルを格納しているフォルダを選択し、「CSV チェックボタン」を押下します。



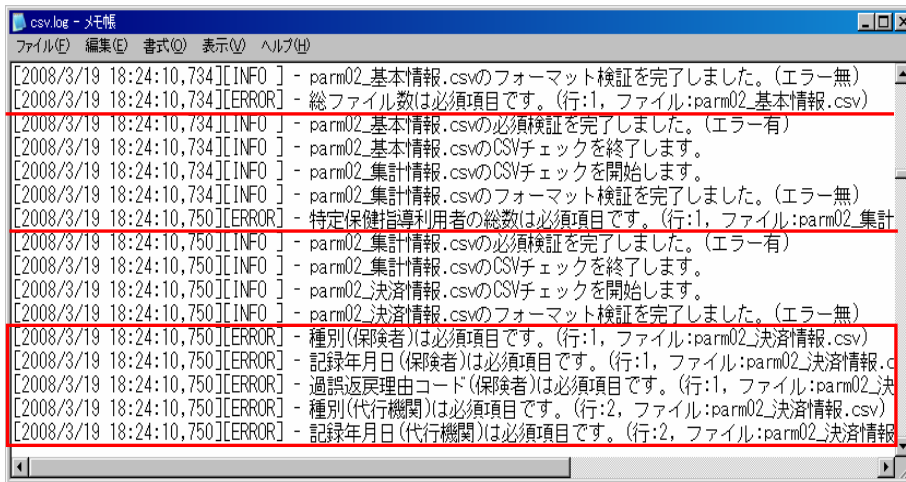
CSV チェックボタンをクリックします。

## ②CSV ファイルのデータ値に誤りがある場合、エラーメッセージ画面が出力されます。

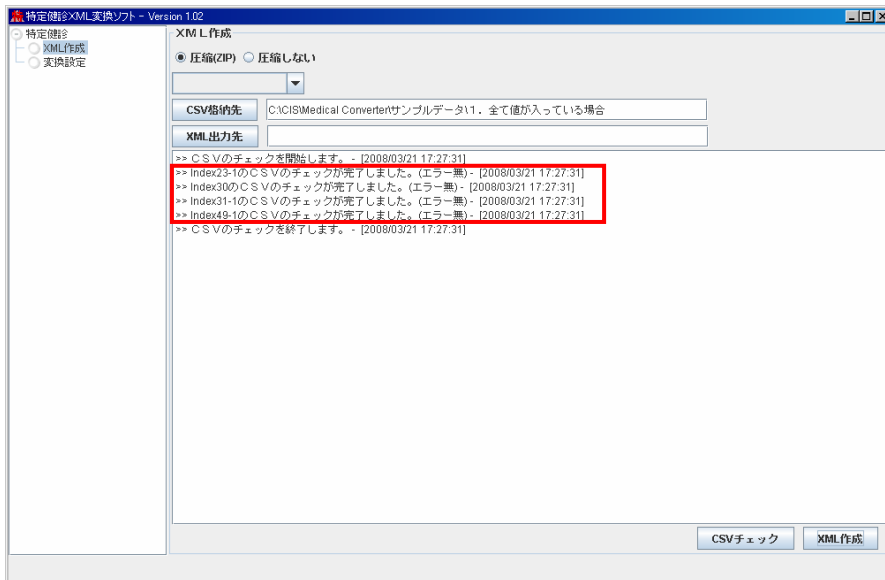


## ④ログ参照ボタンを押下し、エラー内容を示したログを確認します。

- このエラー内容を元に CSV ファイルのデータ値の修正を行なってください。



## ⑤エラーが無く正常に処理終了すると、コンソールに【CSV チェックが完了しました。(エラー無)】と表示されます。



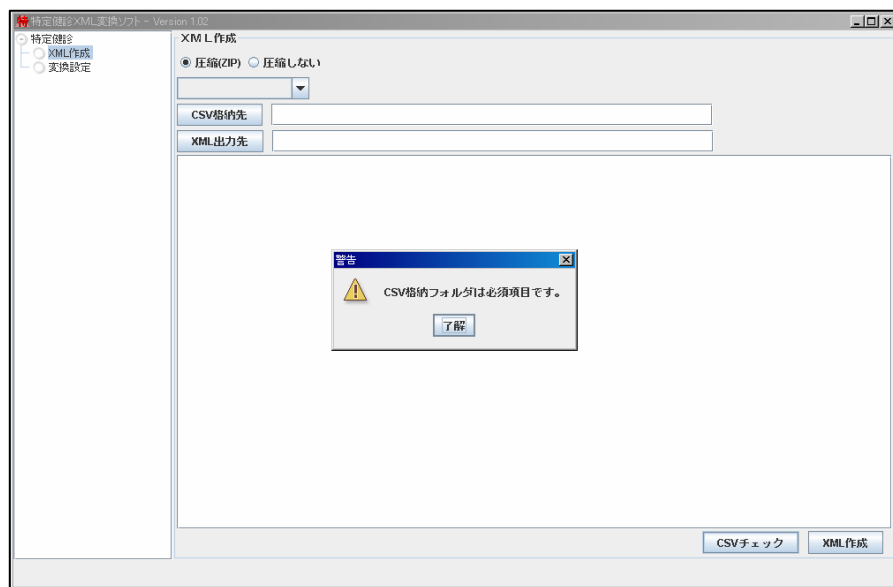
## Style for ME(XML 変換)

・CSV ファイルが格納されていない場合、エラーメッセージ画面が出力されます。

ファイルが格納されている CSV 格納先フォルダを指定し、CSV チェックボタンを再度押下してください。



・格納先が未選択の場合、警告画面が出力されます。

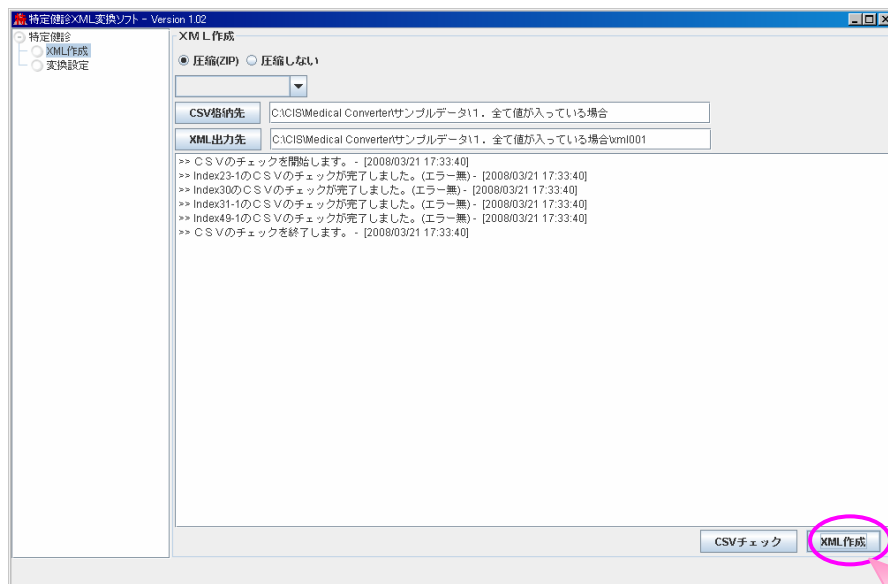




## (7) XML 作成

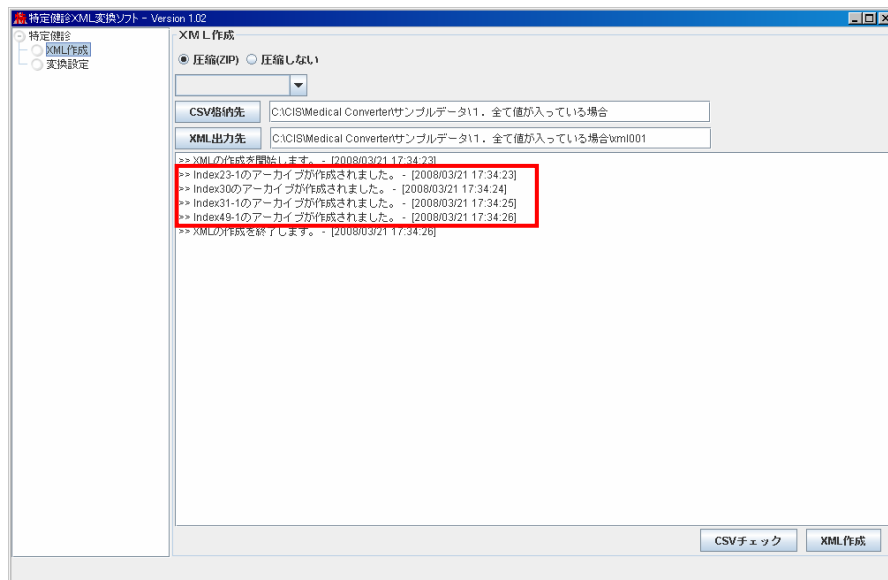
・画面で指定された CSV 格納先より、データを取得し、XML 出力先へ、変換後のデータを出力します。

① CSV 格納先、XML 出力先を指定し、XML 作成ボタンを押下します。



XML作成ボタンをクリックします。

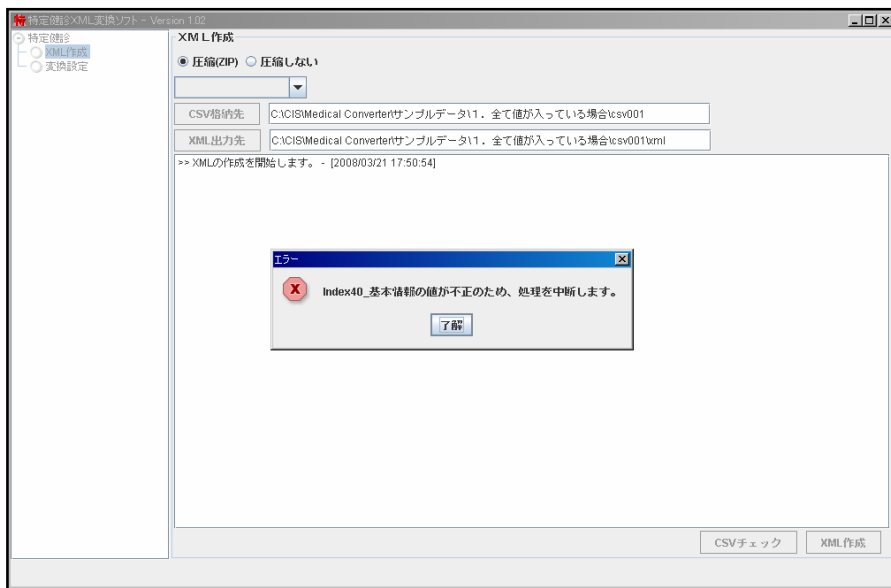
②「アーカイブが作成されました」とコンソールに出力されると、指定したフォルダに XML ファイルが格納されています。



・入カミスのある CSV ファイルで直接 XML 作成を行なうと、エラー画面が出力されます。

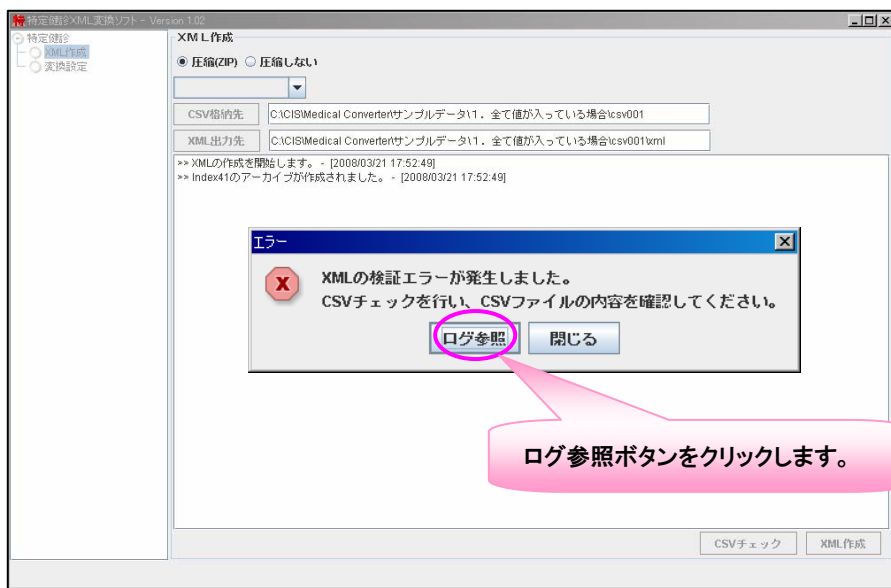
## ①基本情報ファイルのデータ値に誤りがある場合

CSV チェックを行い、データ値を正しく修正してください。



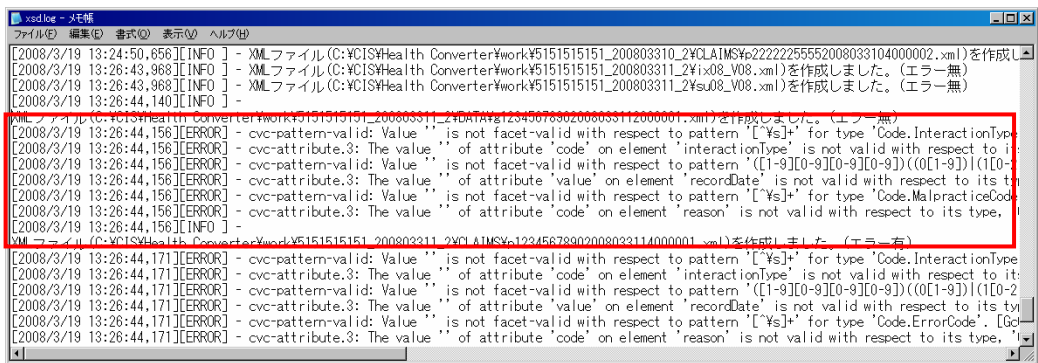
## ②基本情報ファイル以外のデータ値に誤りがある場合

・CSV チェックを行い、データ値を正しく修正してください。

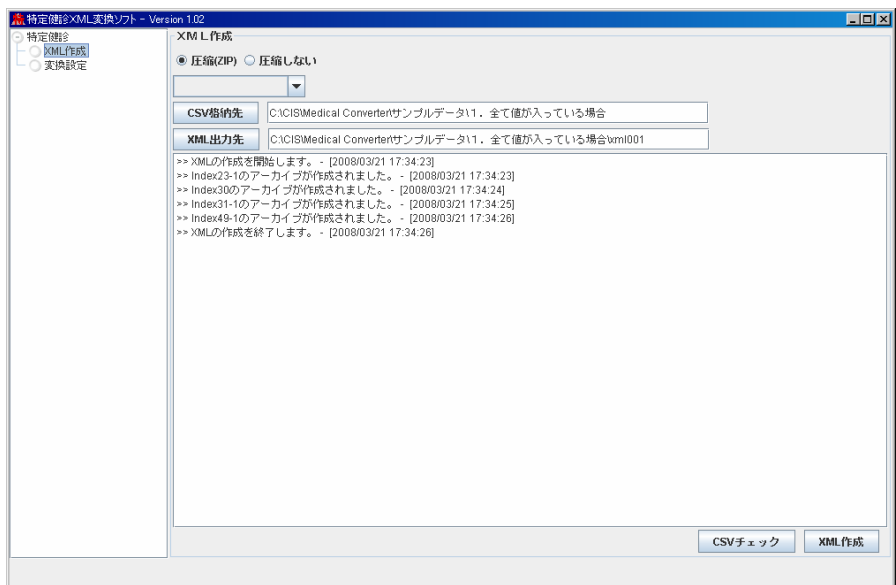


### ③ログ参照ボタンを押下しログの確認をします。

・スキーマエラーのログが出力されます。CSV チェックを行い、CSV ファイルの修正を行なってください。

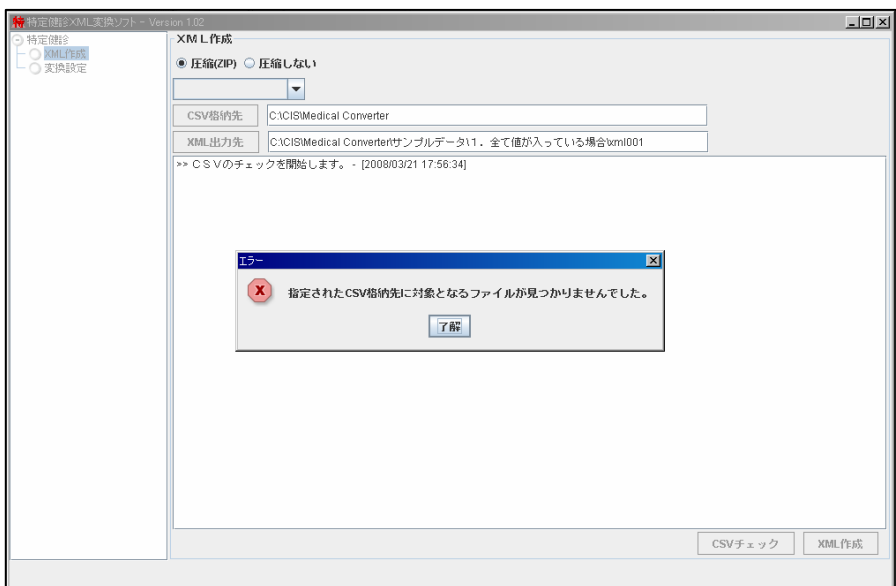


### ④エラーが無く正常に処理終了すると、コンソールに【[ファイル名]のアーカイブが作成されました。】と表示されます。



・CSV 格納先に CSV ファイルが無い場合、エラー画面が出力されます。

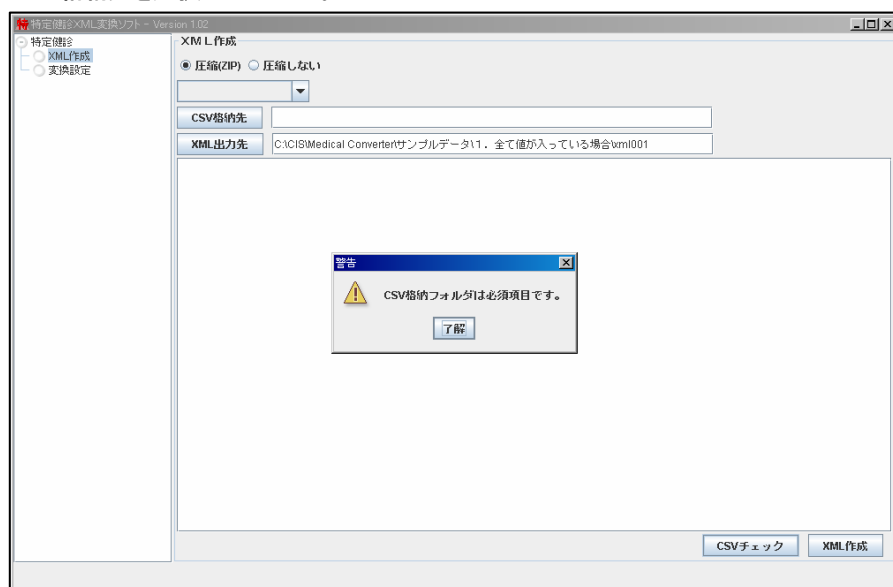
CSV ファイルがあるフォルダを指定し、再度 XML 作成ボタンを押下してください。



## Style for ME(XML 変換)

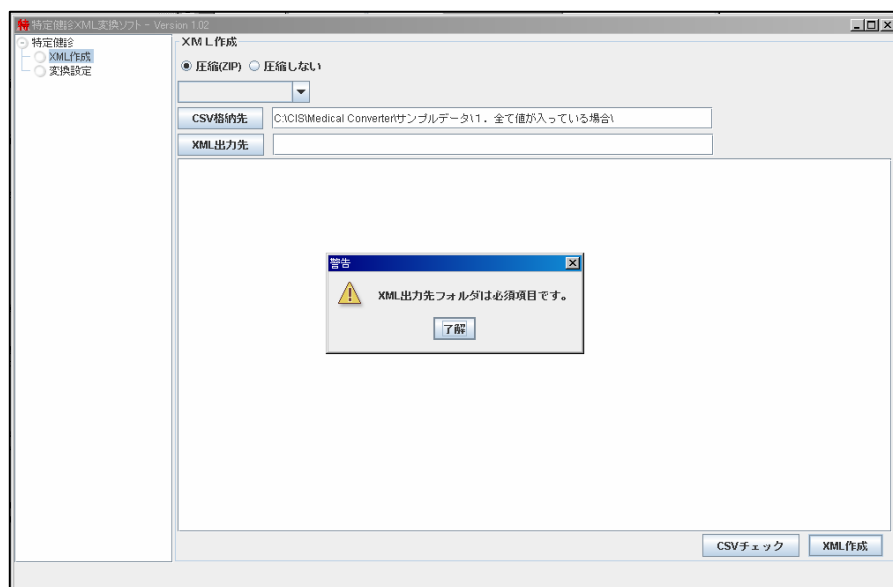
- ・CSV 格納先にフォルダが指定されていない場合、警告画面が出力されます。

CSV 格納先を選択してください。

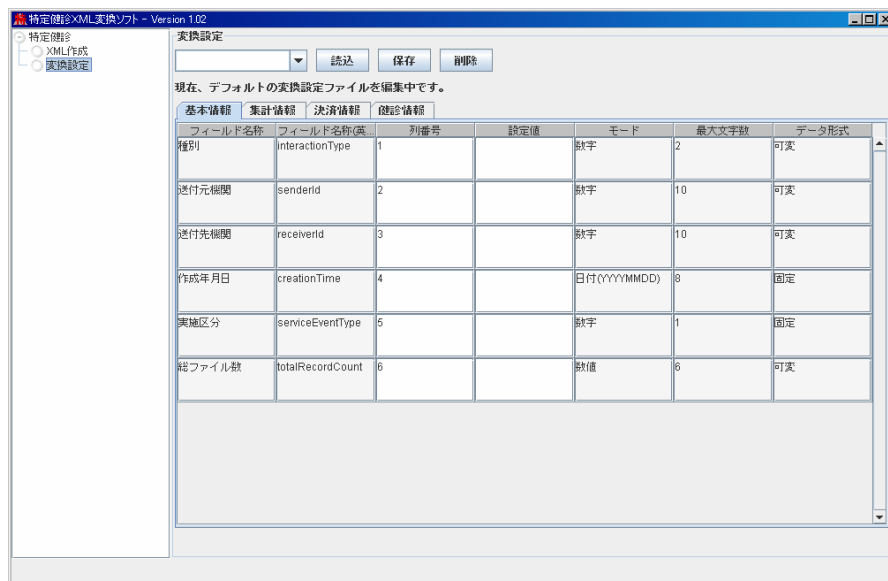


- ・XML 出力先にフォルダが指定されていない場合、警告画面が出力されます。

XML 出力先を選択してください。



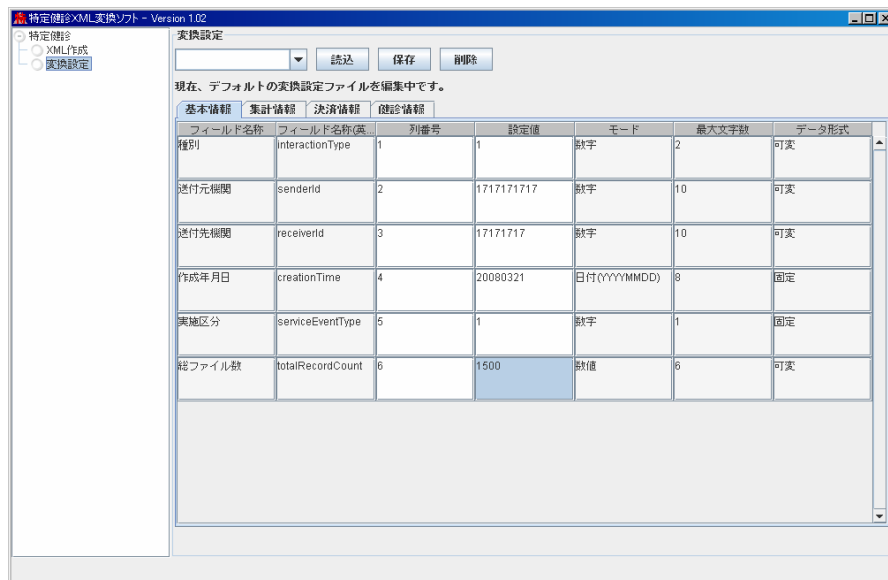
## 5. 設定



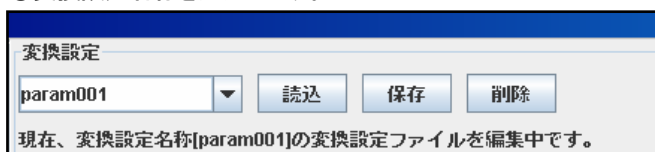
### (1) 設定定義の保存/読込/削除

#### 1) 保存

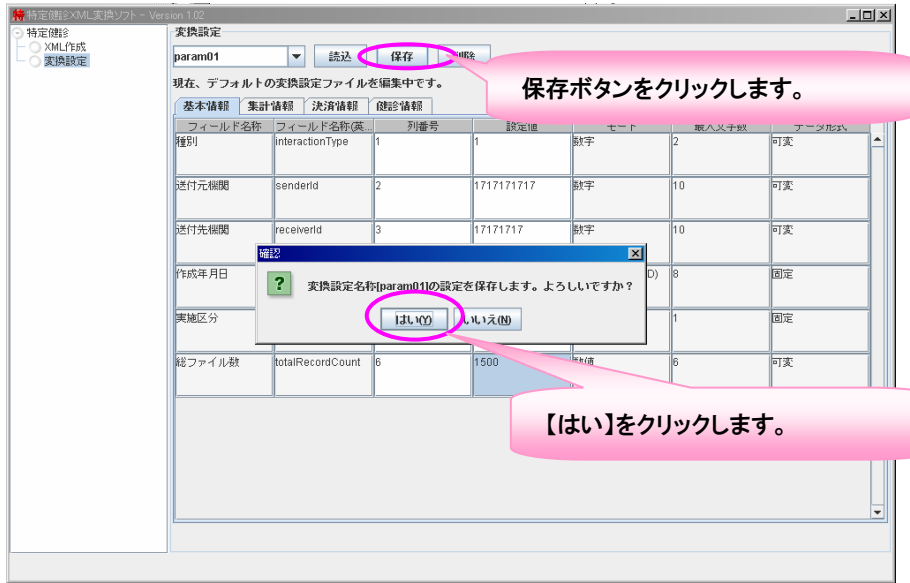
① 基本情報・集計情報・決済情報・健診情報それぞれに、必要なデータを入力します。



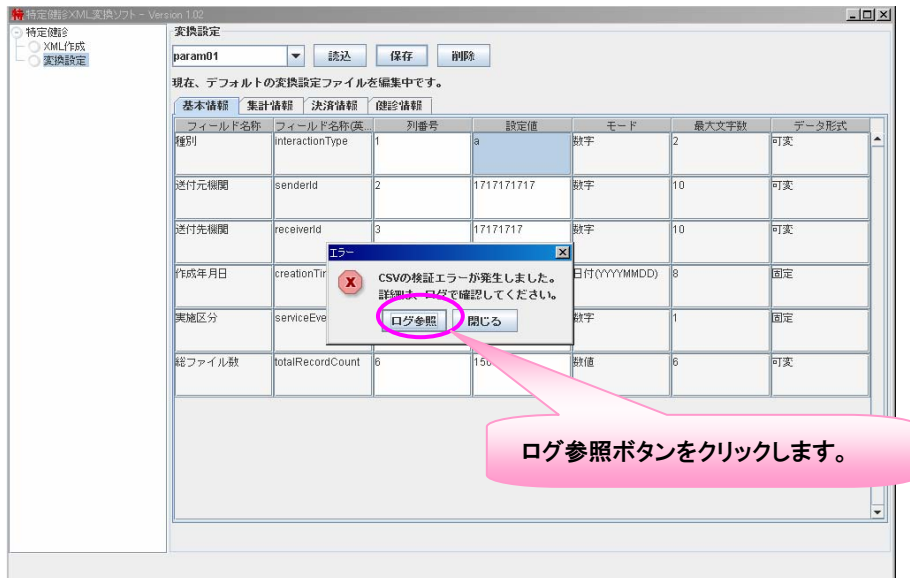
② 変換設定名称を入力します。



③『保存』ボタンを押下すると、保存確認がされ、画面情報が保存されます。

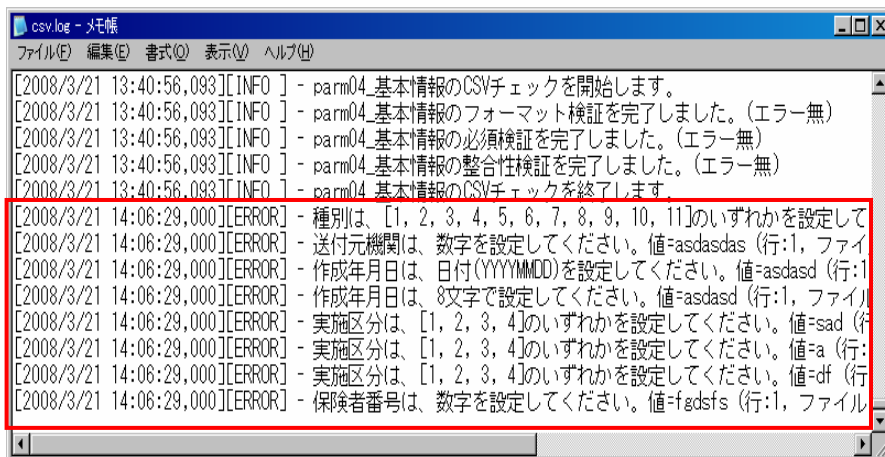


④【はい】を押下すると、設定値に誤りがある場合、エラー画面が出力されます。



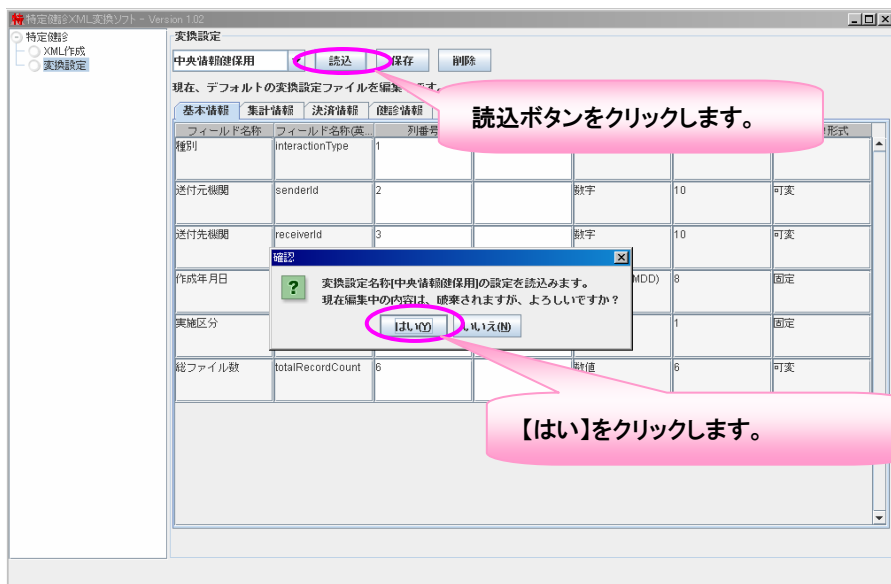
⑤ログ参照ボタンを押下し、エラー内容を示したログを確認します。

このエラー内容を元に設定画面の修正を行ない保存してください。



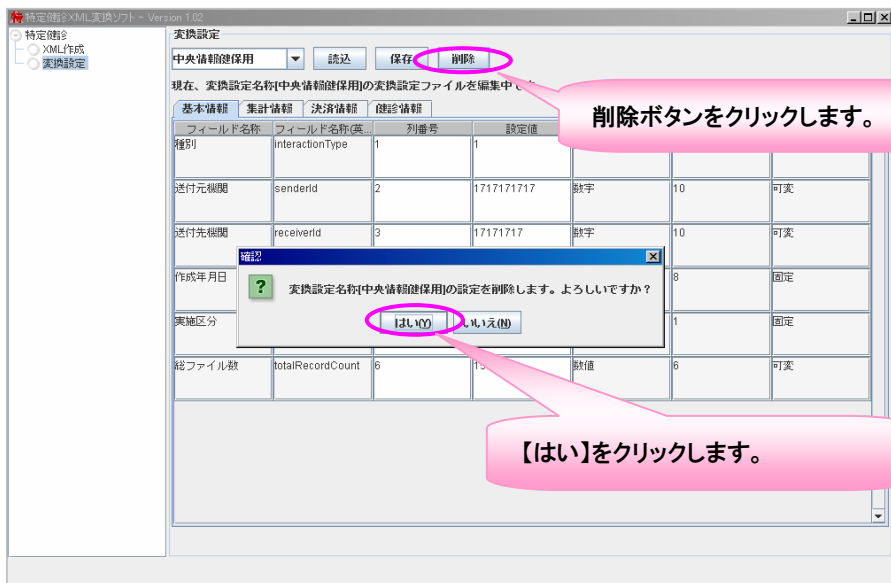
## 2) 読込

- ・保存されている設定情報を選択します。
- ・『読込』ボタンを押下することで画面に展開されます。



## 3) 削除

- ・保存されている設定情報を選択します。
- ・『削除』ボタンを押下することで保存されている設定情報が削除されます。



## (2)CSV 列設定

基本情報	集計情報	決算情報	健診情報
フィールド名称	フィールド名称(英...	列番号	

- ・『基本情報』『集計情報』『決算情報』『健診情報』のいずれかのタブを選択します。
- ・CSV 必要項目が表示されますので列を指定します。

### 例1) 基本情報 CSV

種別	送付元機関	送付先機関	作成年月日	実施区分	総ファイル数
1列目	2列目	3列目	4列目	5列目	6列目

基本情報	集計情報	決算情報	健診情報
フィールド名称	フィールド名称(英...	列番号	
種別	interactionType	1	
送付元機関	senderId	2	
送付先機関	receiverId	3	
作成年月日	creationTime	4	
実施区分	serviceEventType	5	
総ファイル数	totalRecordCount	6	

### 例2) 基本情報 CSV

送付先機関	送付元機関	種別	総ファイル数	実施区分	作成年月日
1列目	2列目	3列目	4列目	5列目	6列目

基本情報	集計情報	決算情報	健診情報
フィールド名称	フィールド名称(英...	列番号	
種別	interactionType	3	
送付元機関	senderId	2	
送付先機関	receiverId	1	
作成年月日	creationTime	6	
実施区分	serviceEventType	5	
総ファイル数	totalRecordCount	4	



## Style for ME(XML 変換)

### (3)規定値設定

- ・『基本情報』『集計情報』『決算情報』『健診情報』のいずれかのタブを選択します。
- ・CSV 必要項目が表示されますので規定値を指定します。

例) 基本情報 CSV

送付元機関	送付先機関	作成年月日	総ファイル数
1列目	2列目	3列目	4列目

フィールド名称	フィールド名称(英...	列番号	設定値
種別	interactionType		01
送付元機関	senderId	1	
送付先機関	receiverId	2	
作成年月日	creationTime	3	
実施区分	serviceEventType		5
総ファイル数	totalRecordCount	4	

CSV に項目が無いので規定値を設定

## 6. 他アプリケーションからの起動

### (1) 起動方法

・以下のようにパラメータを設定して、boot.exe を起動します。

```
C:\CIS\Medical Converter>boot.exe "機能 ID" "任意文字列" "変換パラメータ" "CSV 格納フォルダ" "XML 出力フォルダ" "圧縮形式" "起動時間"
```

### — XML 作成の形式 —

順序	引数名	必須	内容
1	機能ID	○	BM0010102(固定)
2	任意文字列	○	(※1 参照)
3	変換パラメータ		(※2 参照)
4	CSV 格納フォルダ	○	
5	XML 出力フォルダ	○	
6	圧縮形式	○	1:圧縮しない、2:圧縮(ZIP 形式)
7	起動時間		書式(yyyyMMddHHmmss) 未設定の場合、システム日時

例) 以下の条件で起動する場合

#### ①XML 作成の場合

- ・ 機能 ID: 特定健診(BM0010102)
- ・ 任意文字列(※1): 健保1
- ・ 変換パラメータ: 無(※2)
- ・ CSV 格納フォルダ: C:\input\csv
- ・ XML 出力フォルダ: C:\output\xml
- ・ 圧縮形式: 圧縮しない(1)
- ・ 起動時間: 20080306180030

```
C:\CIS\Medical Converter >boot.exe "BM0010102" "健保1" "" "C:\input\csv" "C:\output\xml" "1" "20080306180030"
```

## — CSV チェックの形式 —

順序	引数名	必須	内容
1	機能ID	○	BM0010103(固定)
2	任意文字列	○	(※1 参照)
3	変換パラメータ		(※2 参照)
4	CSV 格納フォルダ	○	
5	XML 出力フォルダ		設定不要
6	圧縮形式		設定不要
7	起動時間		書式(yyyyMMddHHmmss) 未設定の場合、システム日時

例) 以下の条件で起動する場合

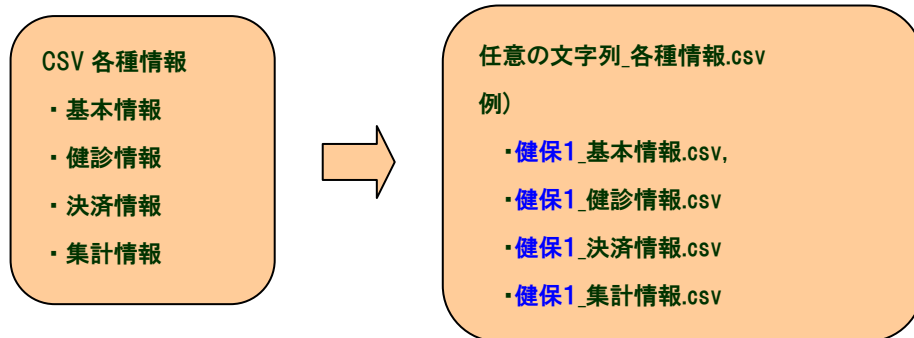
### ②CSV チェックの場合(※3)

- ・ 機能 ID: 特定健診(BM0010103)
- ・ 任意文字列(※1): 健保1
- ・ 変換パラメータ: 無(※2)
- ・ CSV 格納フォルダ: C:¥input¥csv
- ・ XML 出力フォルダ: ""
- ・ 圧縮形式: ""
- ・ 起動時間: ""

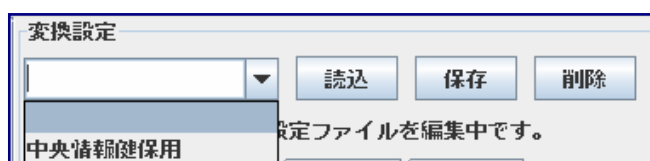
```
C:¥CIS¥Medical Converter >boot.exe "BM0010103" "健保1" "" "C:¥input¥csv" "" "" ""
```

## Style for ME(XML 変換)

※1. 任意文字列は、送付先毎に各種情報の前に分かりやすい名前を指定してください。



※2. 変換パラメータを指定する場合は、変換設定で作成した設定名を指定してください。指定がない場合は Default 設定を使用します。



```
C:\CIS\Medical Converter >boot.exe "BM0010102" "健保1" "中央情報健保用" "C:\input\%csv" "C:\output\%xml" "1" ""
```

※3. CSV ファイルのデータ値に誤りがある場合、エラーになります。

必ず CSV チェックを行い、データ値に誤りの無い CSV ファイルで、XML の作成を行なってください。

## (2)処理結果の取得方法

### ①戻り値の取得

・(表1. 戻り値) 参照

### ②結果ログによる取得

・結果ログ((インストール)フォルダ¥CIS¥log¥boot.log)が、起動するたびに出力されます。

※このログは、上書きされます。1回の起動した結果のみ保存します。

#### ・ログの内容

[①][②][③][④] - メッセージ - [作成日 作成時間]

① 起動時間(yyyyMMddHHmmss) (パラメータの7番目(起動時間)を設定(未設定の場合、システム日時を設定))

② 機能 ID(パラメータの1番目を設定)

③ 任意文字列(パラメータの2番目を設定)

④ 結果コード(表 2. 結果コード)

※結果を出力します。詳細については、(表 2. 結果コード)の「詳細ログの出力先」のログの内容を確認してください。

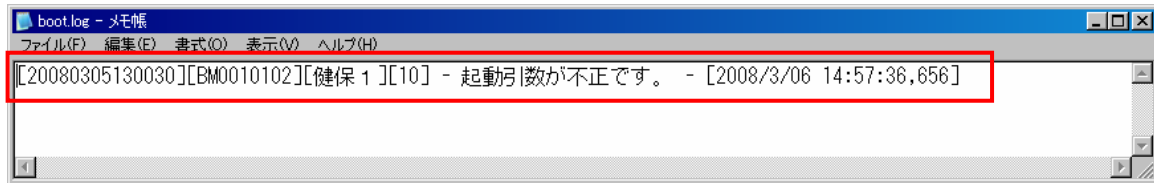


表1. 戻り値

コード値	内容
0	正常終了
1	異常終了

表2. 結果コード

コード値	内容	戻り値(表1.)	詳細	詳細ログの出力先 (ログフォルダは、(※1)を参照)
00	正常終了	0	正常終了	
10	引数エラー	1	引数が不正のため、処理を継続することが不可能な場合に通知	converter.log
11	XML 変換エラー	1	XML 変換に関わるエラーが発生し、処理を継続することが不可能な場合に通知	converter.log
12	使用制限エラー	1	使用制限されている場合に通知	converter.log
20	CSV 検証エラー	1	CSV 検証エラーがあった場合に通知	csv.log
30	XSD 検証エラー	1	XSD 検証エラーがあった場合に通知	xsd.log
90	予期せぬエラー	1	予期せぬエラーが発生し、処理を継続することが不可能な場合に通知	converter.log

※1.ログフォルダ「(インストール)フォルダ¥CIS¥log」

## (3) サンプルソース

### 例1) VB

①非同期で実行する場合(当アプリケーションの終了を待つ必要がない場合)のサンプルです。

```
Dim process As String
Dim param As String
' アプリケーション名
process = "C:\%CIS%\MedicalConverter\boot.exe"
' 引数
param = _
    "BM0010102" _
& "サンプル1" _
& " " _
& "C:\%CIS%\MedicalConverter\サンプルデータ¥1. 全て値が入っている場合¥CSV" _
& "C:\%CIS%\MedicalConverter\サンプルデータ¥1. 全て値が入っている場合¥xml" _
& " " _
& " "

Dim pid As Long
Dim ph As Long
' EXE 起動
pid = Shell(process & param)
```

②同期で実行する場合(当アプリケーションの終了を待つ場合)のサンプルソースです。

①非同期で実行する場合の後に以下の追記する。

※ win32APIを組み込む必要があります。

```
' 待機させる場合は、以下のように記述する。
' Win32 API の関数(OpenProcess, WaitForSingleObject)を組み込む必要がある。
ph = OpenProcess(SYNCHRONIZE Or PROCESS_QUERY_INFORMATION, True, pid)
WaitForSingleObject ph, 1000000 ' exe が終了するまで待つ
GetExitCodeProcess ph, ecode ' 戻り値を取得
CloseHandle ph ' プロセスハンドルを閉じる
```

### 例2) java

①非同期で実行する場合(当アプリケーションの終了を待つ必要がない場合)のサンプルです。

```
List<String> command = new ArrayList<String>(8);
// 他アプリケーション起動用 EXE
command.add("C:¥¥CIS¥¥MedicalConverter¥¥boot.exe");
// 起動引数
command.add("BM0010103");
command.add("サンプル1");
command.add(" ");
command.add("C:¥¥C:¥¥CIS¥¥MedicalConverter¥¥サンプルデータ¥1. 全て値が入っている場合¥¥CSV");
command.add(" ");
command.add(" ");
command.add("20080306180300");

// プロセスの生成
ProcessBuilder pb = new ProcessBuilder(command);
Process process = null;
try {
    // プロセスの実行
    process = pb.start();
} catch (IOException e) {
    e.printStackTrace();
}
```

## Style for ME(XML 変換)

②同期で実行する場合(当アプリケーションの終了を待つ場合)のサンプルソースです。

①非同期で実行する場合の後に以下の追記する。

```
// 非同期で実行する場合は、ここから以下の記述は不要
// 同期で実行する場合は、標準出力された内容の読み取りが必要

// 標準出力された内容の非同期で読み取り
final BufferedReader stdReader = new BufferedReader(
    new InputStreamReader(process.getInputStream())
);
Thread stdOutThread = new Thread(new Runnable() {
    public void run() {
        String line;
        try {
            while ((line = stdReader.readLine()) != null) {
                System.out.println(line);
            }
        } catch (IOException e) {
            e.printStackTrace();
        } finally{
            try {
                stdReader.close();
            } catch (IOException e) {
                e.printStackTrace();
            }
        }
    }
});
stdOutThread.start();

// 標準エラー出力された内容の非同期で読み取り
final BufferedReader errReader = new BufferedReader(
    new InputStreamReader(process.getErrorStream())
);
Thread stdErrThread = new Thread(new Runnable() {
    public void run() {
        String line;
        try {
            while ((line = errReader.readLine()) != null) {
                System.err.println(line);
            }
        } catch (IOException e) {
            e.printStackTrace();
        } finally{
            try {
                errReader.close();
            } catch (IOException e) {
                e.printStackTrace();
            }
        }
    }
});
stdErrThread.start();

try {
    // 待機
    process.waitFor();
    // 戻り値を取得
    int exitValue = process.exitValue();
    System.out.println("exitValue: " + exitValue);
} catch (InterruptedException e) {
    // waitFor() で例外が発生
    e.printStackTrace();
}
}
```



7. CSVチェック:エラーログ

(1)ログ内容

[作成日 作成時間][ERROR] - ① 値=② (行:③、ファイル:④)

- ① エラー内容
- ② エラーが出ている入力値
- ③ エラーが出ている値がある行
- ④ エラーが出ている値の CSV ファイル名(作成した CSV データと設定ファイルからデフォルト値を読み込んだもの)

・作成日時から今回のログを見つけ、エラー内容を確認してください。

・値、行、ファイル名が示してありますので、参考にしてください。

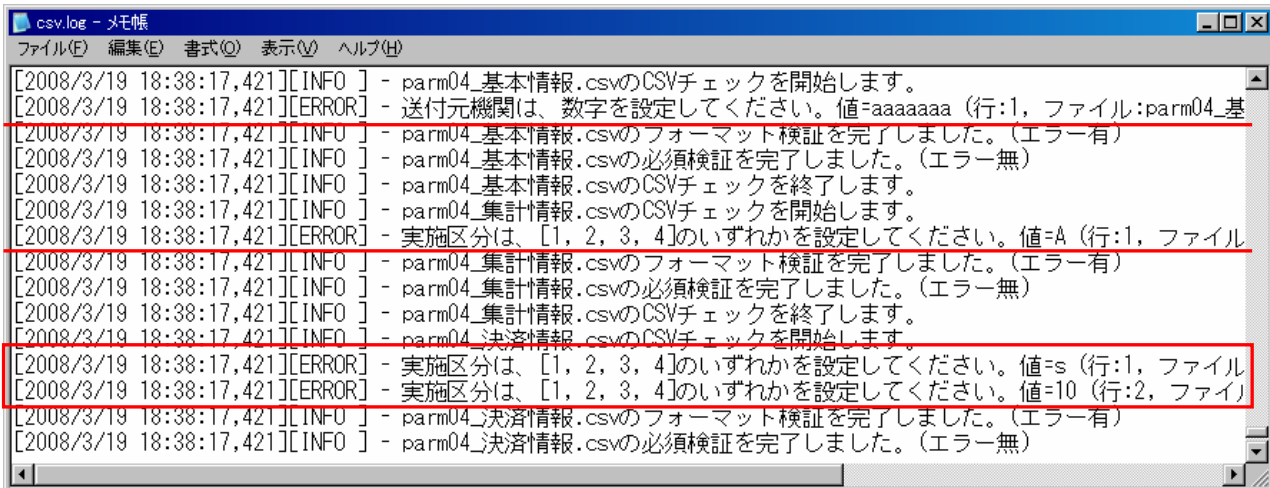
※XML 作成画面で設定ファイルを使用した場合、エラーログのファイル名は全て CSV ファイル名になります。

(2)チェックの種類

①フォーマットチェック

入力されているデータの項目ずつに対して、データ形式、モード、桁数等の書式チェックを行いません。

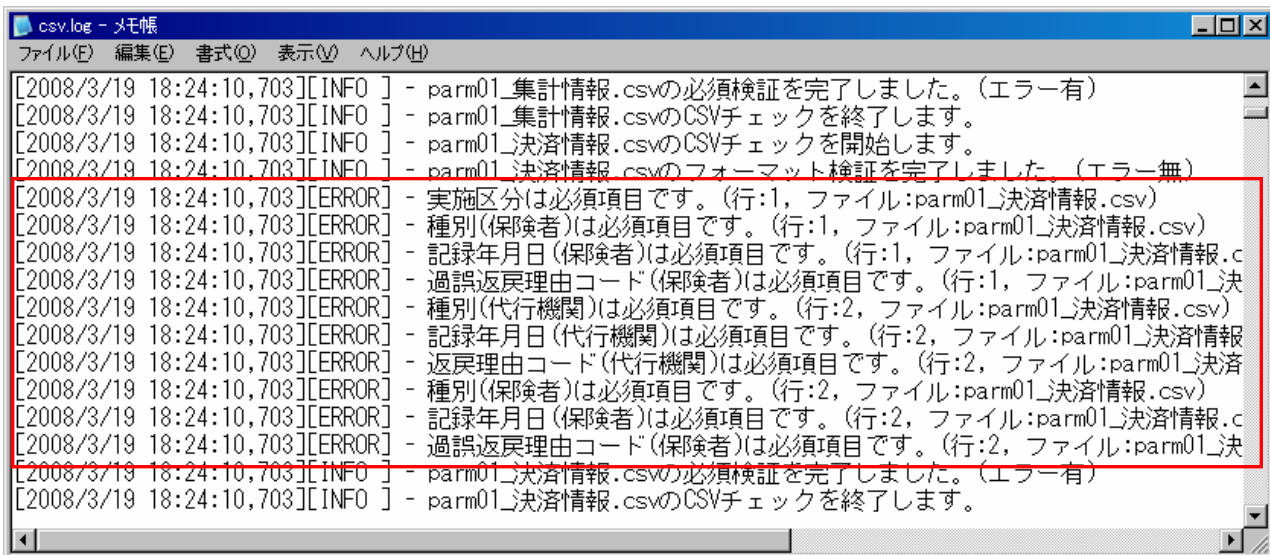
※XML 作成画面、設定画面の両方で必ず行なわれます。



②必須チェック

全てのフィールドに対して、必須項目(ファイル仕様書の○印)に入力が無い場合チェックを行いません。

※設定画面では必須チェックエラーは行なわれません。



### ③整合性チェック

条件によって、値が変化するものに対してチェックを行いません。

※フォーマットエラー、必須チェックエラーが全て正常の場合のみ、整合性チェックが行なわれます。

※設定画面では整合性エラーは行なわれません。

```
csv.log - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_基本情報.csvのフォーマット検証を完了しました。(エラー無)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_基本情報.csvの必須検証を完了しました。(エラー無)
[2008/3/19 18:46:35,390][ERROR] - 送付元機関は、10文字で設定してください。値=121212 (行:1, ファイル:)
[2008/3/19 18:46:35,390][ERROR] - 送付先機関は、8文字で設定してください。値=500 (行:1, ファイル:parm
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_基本情報.csvの整合性検証を完了しました。(エラー有)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_基本情報.csvのCSVチェックを終了します。
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_集計情報.csvのCSVチェックを開始します。
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_集計情報.csvのフォーマット検証を完了しました。(エラー無)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_集計情報.csvの必須検証を完了しました。(エラー無)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_集計情報.csvの整合性検証を完了しました。(エラー無)
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_集計情報.csvのCSVチェックを終了します。
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_決済情報.csvのCSVチェックを開始します。
[2008/3/19 18:46:35,390][INFO ] - parm04_決済情報.csvのフォーマット検証を完了しました。(エラー無)
```

### 8. 付属資料にない検査項目コードの作成について

#### (1)概要

当アプリケーションでは、検査項目の詳細な内容について、あらかじめ厚労省手引書付属資料7を基にしたマスターデータを保持しています。

XML用項目コード 17 桁(項目コード15桁と結果識別2桁を連結)より、検査項目の詳細な情報を取得し、XML変換しています。そのため、厚労省手引書付属資料7に存在しない検査項目をXML変換する場合、マスターデータへの登録が必要になります。

付属資料にない検査項目コードの詳細については、以下のURLで、確認してください。

「健診データの電子的管理の整備に関するホームページ」 <http://tokuteikenshin.jp/>

#### (2)登録方法

ユーザ設定用健診項目マスタ(USER\_OBSERVATION\_MST.csv)と、ユーザ設定用OIDマスタ(USER\_OID\_MST.csv)を作成し、「(インストール)フォルダ¥CIS¥date¥user¥」へ格納してください。

※ アプリケーションの再起動が必要です。

## 9. 正規版、デモ版について

### (1)デモ版について

インストール後、30日間、使用できます。

決済情報の受診者情報と、健診情報の受診者情報が固定で設定されています。

#### ・決済情報

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <checkupClaim xmlns="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://tokuteikenshin.jp/checkup/2007 ./XSD/cc08_V08.xsd">
- <encounter>
  <serviceEventType code="1" />
</encounter>
- <subjectPerson>
- <performerOrganization>
  <id extension="0123456789" root="1.2.392.200119.6.102" />
</performerOrganization>
- <insuranceCard>
  <insurerNumber extension="01234567" root="1.2.392.200119.6.101" />
  <symbol extension="****被保険者証等記号****" root="1.2.392.200119.6.204" />
  <number extension="****被保険者証等番号****" root="1.2.392.200119.6.205" />
</insuranceCard>
<name>ケンシタロウ</name>
- <addr>
  <postalCode>012-3456</postalCode>
  * * * * 住所 * * * *
</addr>
  <birthTime value="19800401" />
  <administrativeGender code="1" />
</subjectPerson>
- <checkupCard>
  <id extension="12345678901" root="1.2.392.200119.6.209" />
- <effectiveTime>
```

#### ・健診情報

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <ClinicalDocument xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../xsd/hc08_V08.xsd">
  <typeId extension="POCD_HD000040" root="2.16.840.1.113883.1.3" />
  <id nullFlavor="NI" />
  <code code="10" codeSystem="1.2.392.200119.6.1001" />
  <effectiveTime value="20070130" />
  <confidentialityCode code="N" />
- <recordTarget>
- <patientRole>
  <id extension="****PatientRoleId1****" root="1.2.392.200119.6.202" />
  <id extension="****PatientRoleId2****" root="1.2.392.200119.6.202" />
  <id extension="01234567" root="1.2.392.200119.6.101" />
  <id extension="****被保険者証等記号****" root="1.2.392.200119.6.204" />
  <id extension="****被保険者証等番号****" root="1.2.392.200119.6.205" />
- <addr>
  <postalCode>012-3456</postalCode>
  * * * * 住所 * * * *
</addr>
- <patient>
  <name>ケンシタロウ</name>
  <administrativeGenderCode code="1" codeSystem="1.2.392.200119.6.1104" />
  <birthTime value="19800401" />
</patient>
</patientRole>
</recordTarget>
- <author>
  <time value="20070128" />
```

### (2)正規版について

初回起動時に、シリアルIDを登録する必要があります。

